

平成30年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市梓川アカデミア館	所管課 TEL	美術館 0263-39-7400		
所在地	松本市梓川倭566番地12	設置年月	平成3年1月		
施設設置目的	西部地区の文化施設として、優れた芸術作品の公開展示による芸術文化の振興及び地域の文化財(民芸品、民族資料等)の公開展示により教育文化の振興を図る。				
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造(一部2階建)、延床面積1,617.89㎡ 【1F】ギャラリー2室、ロビー、喫茶室(テナント77㎡)【2F】展示室3室【屋外】芝生広場(1,000㎡)				
指定管理者名(選定方式)	一般財団法人 松本市芸術文化振興財団(特命)				
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日				
指定管理者の 主な業務	(1)観覧及び使用の許可に関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)歴史、民族及び芸術に係る資料の保管及び展示に関する業務 (4)民族、芸術品等の展覧会及び発表会等の開催に関する業務 (5)前各号に掲げるもののほか、館の運営に関する事務のうち市長または教育委員会のみの特権に属する事務を除く業務				
利用料金制の導入	なし 委託料方式				
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)
	ギャラリー利用率	70.0%	70.90%	101.3%	121.4%
	施設利用者数	20,000人	25,595人	128.0%	123.3%
	(特記事項)				

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成30年度)				市の収支			
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	収入 (歳入)	指定管理料 負担金 雑収入	16,910,000 30,000 10,000	指定管理料 負担金 雑収入	16,983,882 30,000 131,390	公共施設目的外使用料 観覧料 施設利用料 私用光熱水費	375,590 88,200 996,050 466,405	公共施設目的外使用料 観覧料 施設利用料 私用光熱水費
	計	16,950,000	計	17,145,272	計	1,926,245	計	1,860,313
支出 (歳出)	事務費 燃料費 光熱水費 賃借料 租税公課支出 委託費支出 雑支出 事業費	9,950,000 810,000 2,670,000 120,000 740,000 2,330,000 20,000 310,000	事務費 ・人件費8,865千円 ・通信運搬164千円 ・新聞図書61千円 ・修繕費199千円 燃料費 光熱水費 賃借料 租税公課支出 委託費支出 雑支出 事業費	9,769,259 776,518 2,707,983 115,992 702,400 2,774,375 15,669 283,076	指定管理料 梓川賞展負担金 営繕工事費	16,983,882 800,000 11,014,596	指定管理料 梓川賞展負担金 営繕工事費 調査委託料 定期点検	16,542,275 800,000 14,180,400 140,400 58,860
	計	16,950,000	計	17,145,272	計	28,798,478	計	31,721,935
損益	0		0		差引	-26,872,233	差引	-29,861,622

(特記事項)

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
70.8

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠
管理能力 24項目 50点	団体の概要	1 団体の経営状況は良好か。	2	A	4社で共同企業体を構成しており、いずれの決算報告書からも経営状況に問題となる点は見当たらない。
		2 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか。	1	A	それぞれ異業種の企業集団で構成されており、運営体制も連携がとられている。
	適切な管理運営	3 市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理はされているか。	2	A	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		4 市が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか。	2	A	管理運営方針、管理運営業務の内容及び管理基準に適合した事業計画どおり実施されており、問題は見られない。
		5 公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応しているか。	2	A	公平な利用許可、法令を遵守した管理、個人情報の保護等に留意した適切な対応がされており、問題は見られない。
		6 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか。	2	A	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	市民の平等利用	7 正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	2	B	公平性が確保されており、アンケートからも問題は見られない。
		8 事業内容に偏りがあり、利用者が限られることはないか。	2	B	多彩な自主事業が実施され、対象年齢が幅広く、利用者も限定されていない。
	適切な組織・体制	9 職員体制や配置人員は適切であるか。	2	B	勤務表及び日報で確認したところ、人員配置、シフト体制、勤務時間ともに問題なく、管理運営上は適切である。
		10 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。	2	B	所長、副所長、管理スタッフは、施設の管理運営、維持管理作業の経験者であり、指揮系統、責任権限も明確になっている。
		11 労働関係法令等を遵守した労務管理規程等を整備し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか。	2	B	勤務表で確認したところ、業務従事者の適正な労働条件は確保されている。
	職員研修・人材育成	12 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか。	2	B	事業計画に基づき、接客研修、安全講習を計画的に行っており、アンケート調査での市民からの意見は良好である。
		経理及び事務処理等	13 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか。	2	B
	14 経理帳簿や台帳等を整備し、情報公開や監査請求に適切に対処できるか。		2	B	経理担当が本施設専用の会計帳簿により、経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
	15 必要に応じパソコン等IT機器を活用できるか。		1	B	本施設のHPを立ち上げるなど、積極的に施設の情報提供などに活用している。
	16 施設や附属設備の保守点検作業は、必要な基準や仕様を満たしているか。		1	B	施設、備品について日常点検、整備業務の内容が日報管理されており、管理基準を満たしている。
	17 業務報告や事業報告が適切に作成されているか。		2	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題は無い。
	安全管理	18 安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか。	3	B	緊急時の対策として安全講習が行われており、緊急時対応が業務従事者に徹底されており、問題は無い。
		19 施設、警備体制等は適切であるか。	3	B	施設管理のマニュアルに基づき、施設の施設については徹底が図られており、問題は無い。
		20 利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか。	3	B	安全確保に関する研修が計画的に実施がされ、マニュアルも整備されており、従事者への教育が徹底されている。
	緊急時対応	21 事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか。	3	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題は無い。
		22 避難経路が確保されており、避難時に支障をきたす障害物はないか。	3	B	屋外施設のため避難経路を確保する必要はないが、施設内は整然と管理され避難時の支障はない。
	個人情報保護	23 個人情報等の具体的管理方法(書類・電子データ等)においてセキュリティ対策を講じているか。	2	B	個人情報保護方針を文書化し、適用対象者にHP等により周知している。
		24 職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか。	2	B	個人情報保護と同様の扱いとし、業務従事者への教育が徹底されている。
施設の運営 14項目 34点	業務内容	25 業務について処理・対応が適切に行われているか。	2	B	事業計画書に基づき適切に行われており、特にコースター運行上の安全対策では、独自の取り組みが行われ、高く評価できる。
		26 管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか。	2	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されており、問題は無い。
		27 事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか。	3	B	利用者の利便性を図るために、営業時間や休場日を変更するなど、効率のよい運営に努めている。
		28 年間の事業量が適切に実行されているか。	2	B	利用者ニーズに対応した営業時間の設定等の工夫が見られ、事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題は無い。
	経費節減・業務効率化	29 事業計画書どおりの経費節減や業務効率化が実行されているか。	3	B	構成企業がそれぞれの専門的技術(土木、電気、建物管理等)を活かし、自らが施設修繕等を実施することで、経費の削減を図っている。
	備品等の維持管理	30 引き渡した備品等に過不足はないか。	1	B	備品貸出簿が整備されており、備品等の過不足はなく、問題は無い。
		31 引き渡した備品等はその機能が失われていないか。	1	B	定期的に点検が実施されている。また、必要に応じ修繕等を実施しており、備品の性能が確保されている。
	利用の促進	32 施設の利用促進に努めているか。	3	A	広告宣伝、企画運営、HPの作成、により広く情報を提供し、施設の利用促進に関し高く評価できる。
	利用者サービス	33 利用者サービスの向上に努めているか。	4	A	飲食の移動販売、夏休み期間の各種イベント等、利用者サービスを目的とした自主事業や企画が多く実施され、高く評価できる。
	障害者等への配慮	34 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか。	3	B	事業計画に基づき、接客研修が行われており、障害者、子ども、高齢者の利用に問題は無い。
苦情・要望等への対応	35 利用者アンケートが適切に実施されており、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか。	3	A	苦情対応は迅速に行われた。利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を3回実施し、業務改善を図っている。	
セルフモニタリング	36 セルフモニタリングが適切に行われているか。	3	A	報告から適切にセルフモニタリングが行われていることが確認でき、問題は無い。	
環境への配慮	37 省エネ等環境負荷の軽減や周辺環境に配慮するとともに、廃棄物は適切に処理されているか。	2	B	ゴミの分別を徹底しており、節電等の省エネ対策も積極的に取り組んでいる。	
	地域との連携	38 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	2	A	協力団体と連携を取りながら奉仕活動を実施したが、地域活動等の情報収集が乏しく、周辺施設との連携はあまりされていなかった。
経済性 6点	事業報告及び決算	39 支出総額は事業計画書の範囲内であるか。	3	B	事業計画書どおりの事業を実施しており、問題となる点は見当たらない。
		40 事業計画書どおり、収入が確保できたか。(無料施設では、利用者を確保できたか)	3	B	事業計画書どおりの事業を実施しているが、コースターの利用料金収入が計画を大幅に上回った。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	
	調査対象	施設利用者
	調査方法	利用者及び利用団体へのアンケート
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

平成30年度の 自己評価	(1)前年度から松本市美術館との一体管理となったため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行いました。 (2)施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために、利用者アンケートの結果などを参考に相手の立場に立った親切な対応を心がけました。
要望・苦情への 対応状況	(3)梓川地区及び松本市出身の作家の顕彰と共に、梓川地域に根ざした事業として昨年度発足した「梓弓研究会」の勉強会を月1回開催し、梓弓の論文を書いている愛知大学名誉教授の西宮秀樹先生による特別講演会を開催し、梓弓を通じ、地元愛と誇りが高まる契機に繋がりました。 (4)館内にあるカモンカ等のはく製を活用した「はくせいお話し会」を今年度新たに実施しども向けワークショップの充実を図りました。
今後の目標	(1)西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成を図られることを目指します。 (2)梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。 (3)教育普及事業に力を入れ、美術には「観る楽しさ」や「つくる楽しさ」があるということを感じさせることができるワークショップや講座等の開催に取り組みます。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしているとして評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <p>(1)1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけに繋がっている。また、ギャラリー利用者は、地区内に限らず、地区外の利用者も増加して来ている。</p> <p>(2)また、公募展(梓川賞展)は小中学生の応募が伸びたことにより、昨年の三倍の出品になった。このことが、同公募展の注目度、関心度を上げる結果となったことも評価できる。</p> <p>【総合的な評価】</p> <p>(1)工夫を凝らした自主企画により来館者が増加していることを高く評価します。</p> <p>(2)また、広報紙「アカデミア館 館便り」を月1回発行するとともに、マスコミを活用した情報発信により、館の活動を積極的にPRできている点も来館者増に繋がっていると思います。今後も積極的な広報に努めてください。</p> <p>(3)利用者アンケート、来館者アンケートとともに、施設職員の対応について、かなり良い評価をいただいています。今後も引き続き、スタッフによる高度なおもてなし対応の取組みを期待します。</p>

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
77.8

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」
※「不可」の場合、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要がある。	

判断結果
良好

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	平成30年4月～平成31年3月
	調査対象	施設利用者
	調査方法	館内設置のアンケート用紙への任意記載
調査結果	<p>1 施設利用の目的について (32利用団体)</p> <p>(1) ギャラリー使用の内容 ア 絵画展 8件 イ 写真展 7件 ウ 音楽発表会 2件 エ コンサート 3件 オ その他 12件</p> <p>2 展示会開催者の回答</p> <p>(1) 館全体の雰囲気 (良い90%、やや良い 9%、やや悪い 0%、悪い 0%) (2) 設備の使いやすさ (良い90%、やや良い 6%、やや悪い 0%、悪い 0%) (3) 職員の対応について (良い97%、やや良い 3%、やや悪い 0%、悪い 0%) (4) 交通アクセスについて (良い40%、やや良い22%、やや悪い12%、悪い15%) (5) 館内の清掃について (良い53%、やや良い12%、やや悪い 0%、悪い 0%) (6) 駐車スペースについて (良い47%、やや良い22%、やや悪い19%、悪い 9%)</p> <p>3 今後も当館を利用したいと思いますか 利用したい50%、検討する3%、利用しない9%</p> <p>4 アカデミア館の使用料について 高いと感じる3%、ちょうど良い50%、安いと感じる9%</p>	
利用者からの意見 要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方々のお気遣い、ご対応に感謝いたします。恒例になります作品展、また来年こちらの会場で開催できることを嬉しく思います。 ・大変清潔なところで会員一同気に入ったようです。職員の方々も親切な対応で素晴らしい。アクセスに少し問題があるとの意見も多かった。 ・アカデミア館のは入口が分かりづらい何人が迷っていました。 ・壁の張替とスポットライトのLED化を希望。 ・搬入の時間を過ぎてしまい本当に申し訳ありませんでした。そんな場合にもこちらに寄り添った対応をしていただき助かりました。ありがとうございました。 ・駐車場のスペースが不足。一般駐車場が一杯になる前に芝生スペースの開放をお願いしたい。また、子どもが遊んでいる時の注意をどうするか問題が残る。 ・美術教育場として活用されれば良いと思う。幼児から小学生期にマナー見学の順路を守って一枚一枚ゆっくり見て学ぶ場としての活用をしてはどうか。 	